



ランチョンセミナー2

# 統合診療支援システムによる 保険診療対策とデータ利活用

日時 2月12日 (木) 12:15~13:15

会場 B会場 (岐阜グランドホテル西館2階・月の間)  
※席数286席 (シアター)

座長 紀ノ定 保臣 先生 岐阜大学医学部附属病院 医療情報部 部長

演者 長瀬 清 先生 岐阜大学医学部附属病院 手術部 副部長

## 講演概要

チーム医療の推進により医療の質向上や標準化・効率化を図るためには、目的や情報共有がその端緒となる。患者情報の効率的な把握のために統合診療支援システムを導入することで、多数の患者の治療進捗状況が画面で俯瞰できると情報共有が進み多職種による相互の連携や補完が容易になる。入院基本料の要諦でもある感染や褥瘡対策、栄養管理など多部署にまたがる組織横断的な取り組みは、病院全体の質向上をもたらすと考えられる。また統合診療支援システム導入により業務標準化も推進されると、診療情報に基づくデータ収集やその分析が容易になり、治療上の問題点の明確化や更に臨床指標の構築にもつながる。